

○中央道と関越道間の移動時間が**約90分**短縮されます。

- ・中央道八王子JCTから関越道鶴ヶ島JCTまでの所要時間が、約120分から約30分と**約90分短縮**され、国道16号を利用した場合と比べると1/4になります。

中央道+国道16号+関越道
利用
約120分 



約 90 分短縮

圏央道利用
約30分



整備前: H6道路交通センサス混雑時旅行速度
整備後: 圏央道設計速度

○ 渋滞緩和等で年間**約260億円**の経済効果が期待されます。

圏央道が整備されると、国道16号などの渋滞が緩和され、年間**約260億円**、一日あたり**約7,000万円**の経済効果が期待されます。

【国道16号等の渋滞緩和】



国道16号の渋滞状況(松原地区)

圏央道整備で、国道16号など周辺道路の**渋滞が緩和**



年間**約260億円**(1日約7,000万円)
の経済効果が期待

利用者の直接便益として、時間短縮、走行経費、交通事故減少便益から算定

○ 圏央道が開通している日の出町では、**約2,000人の雇用**が増加しています。

- ・平成14年に圏央道が開通した日の出町では、企業進出などにより**約2,000人の雇用が増加**。このうち**約1,800人は日の出町以外に在住**しており、周辺市町村にも効果が波及しています。
- ・さらに、大型ショッピングセンターの建設が進んでおり、**今後も約2,500人の雇用**が創出される見込みです。
- ・日の出町では、工業団地の整備による企業立地により、固定資産税収が**5億円から10億円**に倍増しています。
- ・日の出町は、「平成25年頃には**税収の増大により地方交付税の不交付団体**になる」としています。

開通前:昭和54年



開通後:平成17年



約2,500人の雇用創出見込み

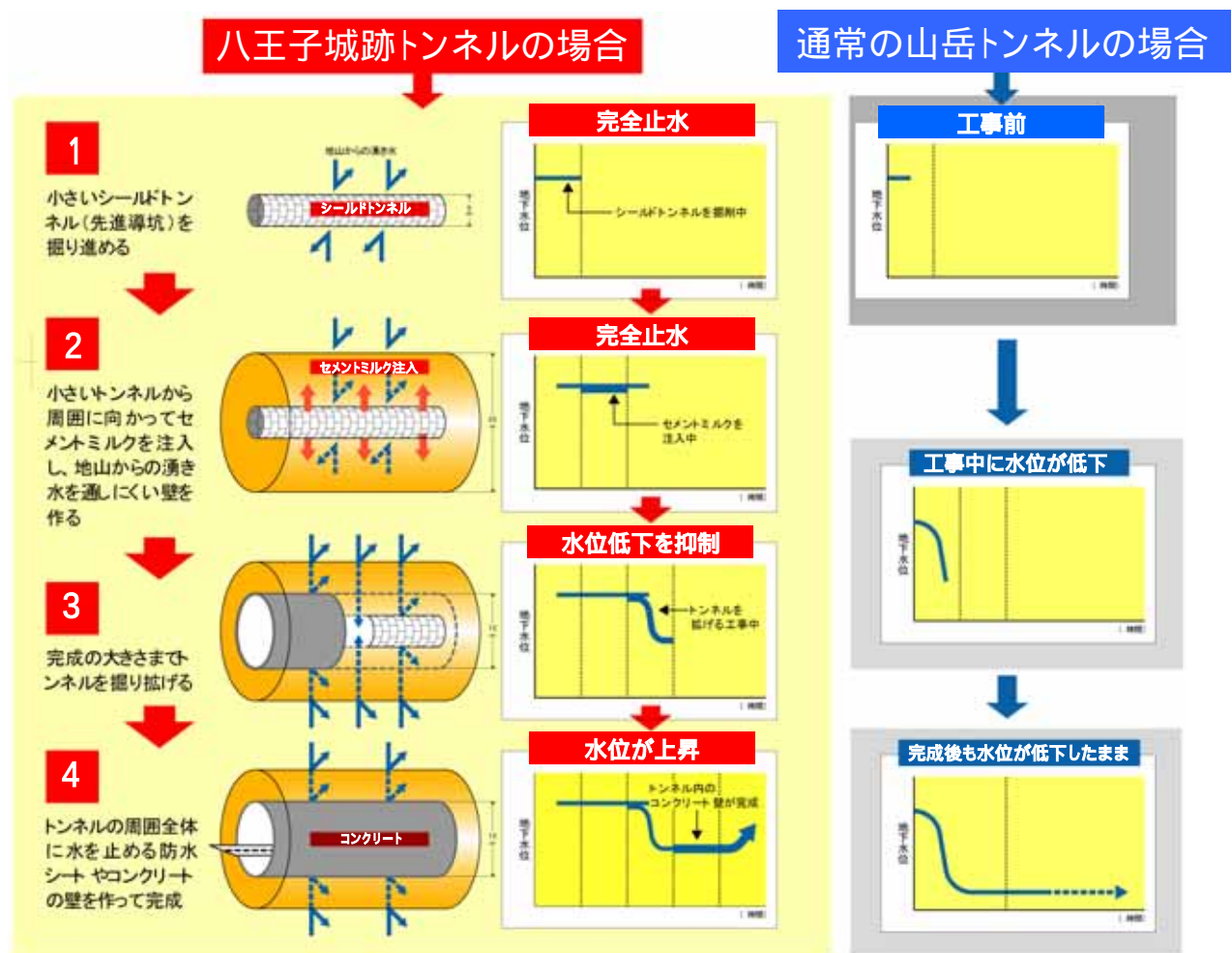


○ 八王子城跡トンネルでは新技術で**水環境を保全する工法を採用**しています。*

- ・ 完全な止水構造により、計画どおり地下水位が上昇
水環境を保全するために最新の技術を用いた地盤注入による『止水工法』の採用により、完成後は水圧 125 トン/㎡に耐えられる完全な止水構造としました。
その結果、工事施工中に低下していた地下水の水位は止水構造の完成に伴い計画どおり上昇しています。
- ・ 工事施工中の湧水を 1/4に制御
トンネルの周囲 5 mに高い圧力でセメントミルクを注入する『止水工法』により、施工中についても湧水の量をセメント注入を行わない区間の1/4程度に制御しました。

* 通常の山岳トンネル工事では

湧水により掘削中にトンネルが崩壊することを防ぐため、水を抜きながら施工を進め、完成後もトンネルに水圧がかからないようにするために水を抜き続けるのが普通です。

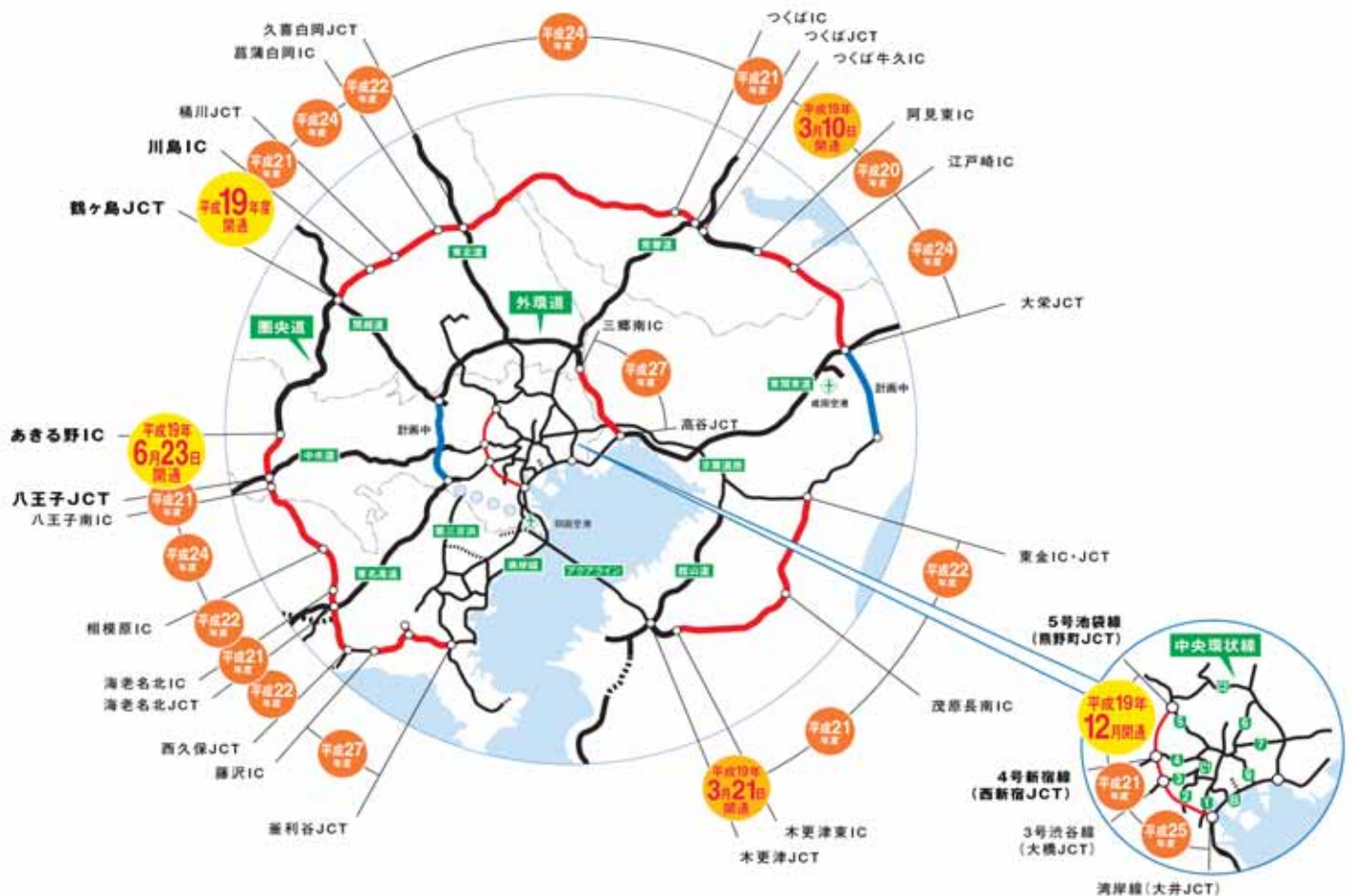


シールドトンネルでは、大きな地下水低下は起こりません。

○「3環状」、続々開通します。

・今回の圏央道(八王子JCT～あきる野IC)の開通に続き、本年12月に首都高速中央環状新宿線(高速4号新宿線～5号池袋線)が開通し、さらに今年度内に圏央道(鶴ヶ島JCT～川島IC)の開通が予定されています。

引き続き、地域の皆様のご理解、ご協力を得ながら、圏央道事業を進め、5年後の平成24年度には、東名高速～東関東道の開通を目指します。



写真図面等のデータにつきましては、ご要望がございましたらご提供させていただきます。